



#リスペクト

<https://ariake-chu.koto.ed.jp/>

学び続ける人 心豊かで、思いやりの有る人 明るく、健やかな人

令和8年 9月 1日

江東区立有明中学校

校長 西川 諭

No. 5

「よく来たね。会えてうれしいよ。」から始まる学校～#リスペクト～

●昨年より長い夏休みが終わり、学校に生徒たちの声が戻ってきました。

この夏は、熊本の地震をはじめ各地で大雨による大きな被害がありました。被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

災害のニュースに触れるたび、毎日の生活は決して当たり前ではないのだと感じます。夏休み明けの日、生徒たちが登校してくる姿を見ながら、私の中に浮かんできた言葉がありました。

よく来たね。会えてうれしいよ。

楽しい夏休みだった人も、思うようにいかないことがあった人もいるでしょう。学校へ向かうことに少しエネルギーが必要だった人もいるかもしれません。

それでも、またこうして会えた。

「一人一人がここにいることを、私たちはうれしく思っている。」

そんなメッセージが伝わる学校でありたいと思います。

●学校は、学力を身に付ける場所であると同時に、一人一人の命と尊厳が守られる場所でなければなりません。

本日、小中合同で火災を想定した防災訓練を行い、中学校では地区班ごとに下校経路も確認しました。いざというときに自分の命を守り、周囲と支え合えるよう備えることは、学校の大切な責任です。

しかし、学校が守るべきものは、それだけではありません。

「自分はここにいていい」と思えること。
困ったときに助けを求められること。
自分の考えや気持ちを表しても大丈夫だと思えること。

そうした安心も、学校が守るべきものです。

●そのためには、困りごとをすぐに「その人の問題」にしないことが大切だと考えています。

学校には、時間割、教室、ルール、行事、服装、呼ばれ方など、たくさんの「ふつう」があり

ます。これらは、多くの人にとっては特に意識せず使える仕組みです。

けれども、その「ふつう」に合わない人にとっては、毎日の生活の中で小さな困りごとが積み重なることがあります。

多くの人が無気なくできていることを、誰かだけが努力して合わせ続けなければならない。

もしそうなっているとしたら、問うべきなのは、その人の頑張りだけではなく、学校や社会の側の仕組みではないでしょうか。

説明の仕方を変える。ルールや仕組みを見直す。周囲の関わり方を変える。「その人に頑張ってもらおう」前に、私たちの側に変えられることはないかと考える。これは、特別支援教育だけの話ではありません。

性のあり方、育ってきた環境、得意なことや苦手なことも、一人一人違います。違いそのものが問題なのではなく、その違いによって誰かだけが困ったり、声を上げにくくなったりする「壁」がないかに気付くことが大切なのだと思います。

●だから、人権教育を「相手を思いやりましょう」だけで終わらせたくありません。

思いやりは、人権教育の大切な出発点です。けれども、そこで終わりではありません。「誰にとっての『ふつう』なのか」「誰かにだけ無理をさせる仕組みになっていないか」と考えることも、人権を大切にすることだと思います。

9月26日(土)の道徳授業地区公開講座では、LGBTQを含む人権課題を取り上げます。

生徒だけでなく、保護者や地域の皆様とも、

「誰もが安心して自分らしくいられる学校とは、どのような学校なのか」

を一緒に考える機会にしたいと思っています。

●夏休み明けからも、生徒一人一人に、

「よく来たね。会えてうれしいよ。」

と言える学校でありたい。そして、一人一人が「ここにいていい」と感じられる学校を、ともにつくっていきたいと思います。

ぜひ、道徳授業地区公開講座にもお越しください。

9月1日発行



F組 合同移動教室（7月1日～3日）

仲間と過ごす中で広がった新しい経験

長野県白樺湖方面で合同移動教室を実施しました。予定期間を変更し、7月1日～3日の3日間、白樺湖博物館の見学や、キャンプの活動、仲間と過ごす中で、友達と声掛けし、新しい経験が広がりました。



短期留学（7月19日～27日）

カナダで広がった学びと出会い

区主催の短期留学に、本校を代表して二ノ宮美風さんと渡邊初美さんが参加しました。出発式では、渡邊さんが代表として、自分の言葉で心のこもった挨拶を行いました。現地では、英語学習やホストファミリーとの交流、自然の中でのさまざまな活動を体験しました。5日目には、Sea2Skyへのゴンドラで山に登り、雄大な景色の中でハイキングなどを楽しみました。異なる文化や人々との出会いを通して、多くのことを学ぶ貴重な機会となりました。



おめでとう！夏の部活動大会

卓球部個人の部 小野寺健さん 都大会2回戦出場

卓球部女子 都大会1回戦出場

ハンドボール部男子 都大会2回戦出場

ハンドボール部女子 都大会ベスト8

※葛西三・小松中合同チームとして参加

バレーボール部 都大会2回戦出場

※有明クラブとして参加

吹奏楽部

吹奏楽ソング東日本部門 銀賞



授業の様子

数学 2学年単元 連立方程式

授業者：山口 瑠美子 主任教諭



【校長より】今回は、数学科の山口瑠美子先生の授業にお邪魔しました。授業では、最初に本時の課題や学習の見通しを確認した後、生徒たちは「先生の説明を聞く」「一人で集中して取り組む」「友達と教え合う」など、自分に合った学び方を選んで学習を進めていました。

山口先生の授業で印象的だったのは、生徒が自分で「どう学ぶか」を選ぶ環境が整えられていたことです。先生の説明を聞いた生徒は前方に集まり、自分で進められる生徒はそれぞれの席で取り組み、相談したい生徒は友達と考える。こうした「学び方の選択」が特別なことではなく、ごく自然に行われていました。日頃から、生徒自身が自分に合った学び方を考えることを大切にしていることが伝わってきました。また、タブレットを活用し、「自力で解ける」「説明できる」など、自分がどこまで理解できているかを生徒自身が振り返る時間も大切にしていました。山口先生はその記録を確認しながら、一人一人に声をかけ、次の学びにつながるアドバイスをしていました。教師が一方的に教えるのではなく、生徒が自分の理解度を確認し、自分に必要な学び方を選び、また振り返る。そのサイクルが授業の中に自然に組み込まれていることが、この授業の大きな魅力だと感じました。

本校では、今後も生徒一人一人が自分に合った学び方を見つけ、「自分で学びを進めていく力」を育てられる授業づくりを進めてまいります。